

わがまち再発見!!

対馬市教育委員会 文化財課

0920(54)2341

『今屋敷家老屋敷跡』

厳原町の今屋敷で十月から発掘調査がはじまりました。交流センターの横にある、この遺跡の名前は今屋敷家老屋敷跡です。江戸時代に対馬藩の家老を務めた古川家の屋敷があったところです。ここに市が観光交流センター(仮称)を建設するため、事前に調査をすることになりました。遺跡は現在、空き地ですが、以前は旅館があり、長屋門も残っていました。すでに明治以降の土を取り、江戸時代の層を調べています。調査場所は長屋門の西に位置する屋敷本体があった所です。建物の柱を建てる礎石を据えるための「根固め」と呼ばれる石敷や、石造りの溝、川辺の施設庭石などが見つかりました。これらは江戸時代の後期に作られ、使われていた施設です。この時代の調査が終わると、次は江戸時代前期に移り、最終的には十四〜十五世紀ごろ

を調べて終了する予定です。

江戸時代における厳原の様子は宗家文書(重要文化財)から伺えますが、実は現物による証明はほぼゼロです。というのもこれまで厳原市街地での発掘調査がおこなわれたことがほとんど無いからです。藩主・義真(もとまこと)が町並を再建した記録はあるものの、以前の町割りをどのように作り替えたのか、現在見えている建物や道のどの部分が該当するのか、またそのときに古川の屋敷も整備されたようですが、元の建物や、整備後の屋敷、暮らしの様子、食器や生活道具、他家・他地との交流など一切が不明です。文字記録から分かるのは一面的なごく一部で、実証されなければ事実とは言えません。今回の調査は厳原の歴史を紐解く非常に貴重な作業です。市民の皆さんには作業員として多数参加していただき、共に調査を進めていきます。新たな発見や証明に繋がれば幸いです。

遺跡は歩道の安全柵外から自由に見学することができません。三月末まで調査は続きますので、どうぞ見学にお越し下さい。

埋蔵文化財包蔵地(遺跡)で各種工事をおこなう際には、法律に基づいた手続きや調査が必要となります。詳しくは文化財課までお問い合わせ下さい。



今屋敷家老屋敷跡

つしま図書館情報

つしま図書館 0920(52)3900

年末年始休館期間(12/29~1/3)は、返却ボックスのご利用をできる限りご遠慮ください。

12/28(金)・1/4(金)は資料整理のため休館します。

1/5日から通常どおり開館します。

1月の休館日

休館日

図書ボランティア養成講座

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

*1月のおはなし会はお休みします。

今月のおすすめ新着本

『就活のやり方 ぜんぶ!』 就職情報研究会 / 編

先輩には聞きづらい「就活」の基本がわかる! 情報収集の方法、業界地図、第一印象がアップするファッションとマナー、エントリーシート・履歴書の書き方、筆記試験・面接対策などを解説。就活本おすすめブックガイドも掲載。

『「海賊とよばれた男」上・下』 百田 尚樹 / 著

敵は七人の魔女(セブン・シスターズ)。待ち構えるのは英国海軍世界を驚かせた「日章丸事件」に材をとった、圧倒的感動の歴史経済小説。ここに完結。「この作品は『小説』という形をとっているが、登場人物はすべて実在。

『手紙とはがきの書き出しと結び』 主婦の友社 / 編

手紙の「書き出し」と「結び」の文例を多数紹介、手紙の基本を分かりやすく解説した入門書&文例集。オフィスで使うビジネス文章やハガキ、電子メールの基本とマナーも解説。

『はじめてのたのしいお料理』 平井 一代 / 著

子どもが作るハンバーグ、から揚げといった定番メニューはもちろん、パンプキンスープ、おもちゃdeピザなど特別な日に作りたいアレンジメニューまで、全37レシピをマンガと写真で紹介。

『クリスマスにやってくるのは?』 K・バンクス / 著

雪が降り積もる中、なにかがそこまできている。クリスマスのうたごえが町にひびくなか、なにかがそこまできている。それは...。ケイト・バンクスの詩的な文とゲオルグ・ハレンスレーベンが描く美しい絵がしあわせなクリスマス。

『三毛猫ホームズの推理日記』 赤川 次郎 / 著

遊園地のおばけ屋敷で殺されそうになった男。しかもその犯人は、すでに死んだはずの少女だというが...。片山刑事が、妹の晴美、飼い猫のホームズと3人(?)で難事件解決にいとむ。

一般書

児童書